



あゝ学舎よ夢多き



根室高校HP QRコード

令和5年度 根室高校の新学期がスタートしました。

4月1日に本別高校から根室高校に着任しました校長の松田素寛(まつだ もとひろ)と申します。7年ぶりの根室は懐かしくもあり、100年以上の歴史をもつ伝統校の根室高校で勤務できることを大変うれしく思っております。



今年度、151名の新生を迎え、全校生徒470名で新学期がスタートしました。

明るく素直な生徒達と活気ある教職員とともに、本校の校訓「敢為和協」(力を合わせて困難に打ち勝つ)、「堅実錬磨」(心と体を鍛え磨き、一步一步確かな歩みを続ける)をもとに教育活動を行って参りますのでよろしくお願い致します。

令和5年度の学校経営目標として、「ウェルビーイング(Well-Being)な学校づくりの推進」を掲げています。本校の生徒や教職員が心身ともに健康で、安全・安心な環境をつくり、挨拶、声かけ、励まし、賞賛、対話、笑顔が溢れる学校づくりを進めて参ります。

これまでも本校ホームページで学校行事や部活動に関する積極的な発信に心がけて参りましたが、今年度は、今まで以上に本校の取組とそのねらい、そして生徒や教職員の頑張りや思いなどを伝えていきたいと考え、学校通信「あゝ学舎よ 夢多き」を発行することとしました。

学校通信の名称は、本校の校歌の歌詞にある「あゝ学舎よ夢多き」の一節です。生徒が、本校の3年間の多様な教育活動を通して、自己と向き合い他者と協働しながら活動することで、将来への夢や希望を見出し、夢への実現を果たしてほしいという期待を込めています。日々の教育活動に励む本校の教職員とともに、保護者の皆様と地域の方々の多くのご支援をいただきながら、これからの地域や社会で活躍できる人材育成を行って参ります。今後とも本校への変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

【進路指導部より】

第1回 校内模試チャレンジウイーク … 夢への一歩

4月24日(月)から一週間、放課後、校内模試チャレンジウイークと題して、大学・短大など進学希望者に対して、入試問題に挑戦する取り組みをスタートしました。

今回、3年次13名、2年次30名が挑戦しています。進路指導部長佐藤知理先生からは、各生徒が主体的に目標を持ちながら行っているとのコメントをいただいています。



根高で身に付けさせたい資質・能力

根高では、生徒に身に付けさせたい10の資質・能力を定めて、教育活動を行っています。

- ①知力・学力、②対話力、③挑戦力、④論理的思考力、⑤協働力、⑥課題解決力、⑦自己肯定力、⑧自己管理能力、⑨自己実現力、⑩社会創造力です。



先日、2学年のLHRにおいて、クラス対抗で世界記録に挑戦するイベントを行いました。その際も、他者と協力し成し遂げる「⑤協働力」や、目標設定しその目標に向けてチャレンジする「③挑戦力」など、その活動でどの様な力が必要か、どの様な力が身に付くかを意識させた取り組みを進めています。

開校記念日(5月1日)にあたり … 歴史と伝統の重み

根室実業学校・根室商業学校 沿革史より抜粋

明治36年、根室は、札幌、函館に次ぐ実力をもち町となり、政治、経済、交通の中心地となった。町民の要望として築港の完成、鉄道の敷設とともに中等教育機関の設置要望があげられる。

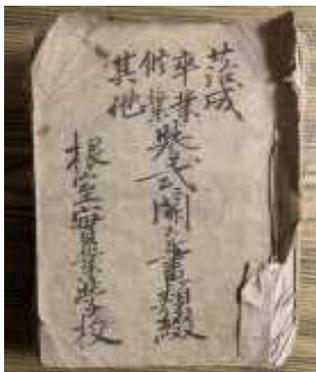
当時の道議会において、根室商業学校設置に関する議案が提出される。当時の根室は水産物の集散地となり、中国と直接、貿易も行われる機運にあり、商業学校の設置が要望される。

明治37年、商業学校設置に向けた活動が行われるが日露戦争の勃発で繰り延べとなった。その間、敷地並びに校舎の寄付などに奔走する。

明治38年、根室は水産関係の地であることから水産学校設置の要望にも配慮して根室実業学校とすることとし、道議会への議案提出がなされる。その頃、釧路、旭川、小樽、空知、札幌などの学校に先んじて、小樽の学校とともに設置の第一次計画に入り、明治39年の開校が決定となる。

明治39年、4月に北斗小学校や花咲小学校で入学試験等が行われる。当時の入学生は50名。

明治39年、5月1日、北斗小学校において開校式を挙行する。また、新校舎落成式を明治41年5月1日に行う。



[写真1] 明治41年新校舎落成式に関する書類



[写真2] 開校当時の校舎

本校は、創設以来、幾多の変遷を経ながら100年以上の歴史を積み重ねてきた伝統校です。

生徒の皆さんには、根高生としての誇りを持ち、本校の校訓「敢為和協」(力を合わせて困難に打ち勝つ)、「堅実錬磨」(心と体を鍛え磨き、一步一步確かな歩みを続ける)を実践し、充実した学校生活を過ごすことを期待しています。